

事業実績書

| | |
|------|--|
| 事業名 | 幼児教育のための施策「みんなで花を咲かせましょ。」・「芸術士」の提案 |
| 場所 | アーケード名店街「だいこくや」、DHARMA 沼津、プラサ ヴェルデ |
| 期間 | 2019年 4月 5日 ～ 2020年 3月 29日 |
| | 日程 |
| | 実施項目・作業項目 |
| 事業内容 | <p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>「おやこんぼフェスタ」6月8日(土) 実施内容：沼津市私立幼稚園協会主催するイベント「おやこんぼフェスタ」にて「深海の未発見生物」をつくるワークショップを開催。企画立案および会場設営、子どもたちへの呼びかけ、事例作品制作。 実施場所：キラメッセぬまづ 参加対象：未就学児を持つ家族 人員配置：当日、ENメンバーは担当ブースで子ども達と共に創作活動にあたる 打ち合わせ：4月5日(金)原町幼稚園で鶴谷園長と実施内容について検討。 会議：EN定例会(4月21日、5月11日)で同件について議題に取り上げる 準備(検討会)：DHARMA 沼津で会場のシミュレーション(5月25日、6月7日)。</p> <p>「芸術士」1月17日(金) 実施内容：沼津市幼児協教育研究会主催研修会「沼津で芸術士が活躍する施設を！」への企画立案、当日の進行、シンポジウムのパネラーとして参加。 実施場所：プラサ ヴェルデ 参加対象：沼津市幼児協教育研究会会員、県東部在住のアーティスト、保護者団体 人員配置：当日はENメンバー(長橋、原)がパネラーとして参加、加えてENメンバー(都築)が記録係として映像で撮影。 打ち合わせ：9月29日(金)、12月20日(金)原町幼稚園で鶴谷園長、片浜保育園進士園長と共に内容について検討。10月18日(金)武蔵の森珈琲にてENメンバー(原)、保護者会会員(松永氏)と打ち合わせ。 会議：EN定例会(9月7日、10月27日、11月10日、12月7日、1月11日)で同件について議題に取り上げる。</p> <p>「みんなで花を咲かせましょ。」3月7日(土)～29日(日) 実施内容：「だいこくや」を会場に沼津市内の7幼稚園、あしたか幼稚園、こずわ幼稚園、しょうえい幼稚園、中央幼稚園、原町幼稚園、春の木幼稚園、ルンビニ幼稚園に協力を仰ぎ、店内を子ども達の描いた桜の木で装飾する。 実施場所：だいこくや(沼津アーケード名店街にある駄菓子屋) 参加対象：沼津市内の7幼稚園の園児。 人員配置：3月7日(土)・29(日)はENメンバーで搬入、搬出の作業を担当。 会議：EN定例会(11月10日、12月7日、1月11日)で同件について議題に取り上げる。 準備：DHARMA 沼津で下絵制作、その後担当メンバーが協力幼稚園(7園)に下絵を届け、搬入日までに受け取る。</p> |
| 事業効果 | <p>※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。</p> |

| | |
|----------------|--|
| | <p>「おやこんぼフェスタ」参加者数の把握はできなかったが、開始直後から終了時間まで、多くの親子が訪れ「深海の未発見生物」をいっしょにつくった。</p> <p>「芸術士」幼稚園関係者および保護者、造形作家など 100 名弱の参加があった。</p> <p>「みんなで花を咲かせましょ。」現在開催中。</p> |
| <p>今後の活動予定</p> | <p>「おやこんぼフェスタ」 2020 年 6 月のイベントにてワークショップ実施予定</p> <p>「芸術士」 今後、短期的、中期的、長期的展望を見据えながら、これから取り組む必要のある事項を精査して、具体的な活動に着手していく予定。</p> |
| <p>自己評価</p> | <p>ENの活動以外にも、個々のメンバーの社会的立場を勘案しながら無理のない中で、収穫のある活動が実践されていると思われる。</p> |

「おやこんぼフェスタ」



「芸術士」

アートで感性と創造力を育む
幼児教育研究協議会が研修会

沼津市幼児教育研究協議会（進士清登会長）は、アートを使って子ども達の感性と創造力を育む「芸術士のいる保育園事業」に取り組み香川県高松市の実践者を招いた研修会を、日、アラサワエルデ会議室で開き、保育施設職員以外に子育てサークル、現代アーティストで構成する「E.N.メンバー」や、市内外で活動する芸術家に参加を呼び寄せた。

高松市の芸術士活動学ぶ
次年度からの実践も視野に

協議会では、昨年、教職にも強力な学びの研修で高松市の事業に具体的な取り組みについて概要を聴き、今年度の研修会は、画一的な教育から子ども達の個性や表現、学ぶ力を引き出す教育へのシフトを目指して、幼児教育も変わる必要があること、アートの力で沼津市の幼児教育を活性化し、高松市で芸術の専門家として活躍する事業を推進し、沼津市に導入する必要があること、アートを導入した新しい幼児教育について、協議を開始。私立幼稚園協会が開くイベントのワークショップも、長野田美子さんを「E.N.」の長編秀樹代表（産業大教育学部）が、

はじめに進士会長が、これまで協議を話しながら「高松市で、の芸術らしい取り組みを沼津市においても実現したい。この取り組みを通じて、子どもの感性や創造性を刺激できれば」といざっし講師の3人を紹介。三井代表理事が芸術士の取り組みについて、概要を話し、引き続き、ニューヨークを拠点にアートを学ぶ、国内外で活躍する画家の山田さんと、香川県を拠点に活動する作家として活躍する松野さんが、それぞれ最先の取り組みやアート活動について、実践や課題を話しながら説明した。

同日、高松市は、高松市を拠点に香川県内を中心に県内の様々なアート施設や地域づくり活動に関わる、教育とアートの専門家を保育施設に配置し、子どもたちが主体的に探究し、学びのイテラティブな幼児教育・レジャージェット・エミリア・プロジェクトを参考に、芸術士派遣事業を企画した。当初は、国の緊急雇用創出などの事業として始まったが、その後、市の独自財源で継続して今年度10年目。現在、アートや音楽

松市を拠点に香川県内を中心に県内の様々なアート施設や地域づくり活動に関わる、教育とアートの専門家を保育施設に配置し、子どもたちが主体的に探究し、学びのイテラティブな幼児教育・レジャージェット・エミリア・プロジェクトを参考に、芸術士派遣事業を企画した。当初は、国の緊急雇用創出などの事業として始まったが、その後、市の独自財源で継続して今年度10年目。現在、アートや音楽

幼児教育への芸術士の派遣について、市内での実践を目指して話し合った研修会＝アラサワエルデ会議室で

「みんなで花を咲かせましょ。」

